

学力向上施策の推進について

令和4年2月7日
小中学校課

【今後の学力向上施策のポイント】

全国学力・学習状況調査で明らかになった学力課題の解決に向けて、令和2年3月に策定した「鳥取県学力向上推進プラン」をもとに、学力向上に向けた施策を進めているところ。

来年度はそのプランに基づき、これまでの取組に加えて新たに「未来を拓くとっとり学力向上プロジェクト」を立ち上げ、県教育委員会と市町村教育委員会の学力向上に向けての連携をさらに深め、一体となって学力向上施策を推進し、児童生徒の学力向上を図ることとしています。

1 全国学力・学習状況調査から見える成果と課題

(1) 教科に関する調査

調査結果（平均正答率[%]）

| | 国語 | | 算数・数学 | |
|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 本県(公立) | 全国(公立) | 本県(公立) | 全国(公立) |
| 小学校6年 | 64 | 64.7 | 69 | 70.2 |
| 中学校3年 | 63 | 64.6 | 56 | 57.2 |

(2) 成果

- ・小学校算数においては、質問紙調査の「算数が好き」「算数の授業の内容が分かる」の項目の肯定的回答が、一昨年度から大きく改善した。算数の全校訪問の取組の成果として、各学校での授業改善が進みつつあることが伺える。
- ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童生徒が小・中学校とも全国平均を上回っている。経年変化をみても、特に小学校では一昨年度から大きく増加しており、話し合う活動を取り入れた授業改善が進んでいることが伺える。

(3) 課題

- ・小学校算数では、知識や技能を活用して答える問題に課題がみられた。
- ・中学校数学では、記述式問題の無回答率が全国より高く、質問紙調査でも最後まであきらめずに努力する項目で肯定的回答が低かった。
→言葉や数、式を使って説明する問題を授業でより多く取り扱うなどの授業改善が必要である。
- ・小学校国語では、「目的に応じて、話の内容や自分の主張が明確になるよう、スピーチの構成を考えたり、文章全体の構成や展開を考えたりする」力に課題がみられた。
→身に付けた知識を目的に応じて活用し、表現する力を育成するための授業改善が必要である。
- ・中学校国語では、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ」力に課題がみられた。
→身に付けた知識を活用し、自分の考えを表現する力を児童生徒に育成するための授業改善が必要である。
- ・小・中学校ともに、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合が全国平均を下回っており、経年変化を見ても減り続けている。
→家庭や地域とも連携を図りながら、ふるさとキャリア教育に基づいた取組を進めていくことが必要である。

2 今後の取組

未来を拓くとっとり学力向上プロジェクトについて（鳥取県学力向上推進プラン）

- 市町村教育委員会等との連携強化と県教育委員会の指導體制の見直し
- 個の伸びに着目した本県独自の調査の活用
- 「今、求められる学力」（活用力・応用力）を育成する授業づくりの推進
- 教師の指導力・能力を高める研修の充実
- 一人一台端末を活用した個別最適化された学習の推進

| 区分 | 内容 |
|-----------------------------------|---|
| 市町村教育委員会等との連携強化と県教育委員会の指導體制の見直し | <p>○「鳥取県・市町村学力向上推進会議」の開催 県と市町村長、教育長で構成される鳥取県・市町村学力向上推進会議を開催し、全国学調やとっとり学調の結果を分析し、課題解決への取組を市町村と検討・実行する。</p> <p>○学力向上推進PT会議 年2回実施し、外部有識者等からの助言や提言を生かして県の学力向上施策の進捗状況を定期的に検証する。</p> |
| 個の伸びに着目した本県独自の調査の活用 | <p>○とっとり学力・学習状況調査の実施 児童生徒一人一人の学力の伸びを測る指標となる県独自の「とっとり学力・学習状況調査」を実施する。→R4：14市町村で実施予定 データを活用して個に寄り添った教育を推進するとともに、家庭との連携を図る。</p> <p>○学習状況を経年で把握する個人カルテの作成 小学4年～中学2年までの学力の伸びや非認知能力、学習方略の変化を可視化する個人カルテを作成する。</p> |
| 「今、求められる学力」（活用力・応用力）を育成する授業づくりの推進 | <p>○「今、求められる学力」の研修動画作成 エキスパート教員による「今、求められる学力」を育成するための授業を編集した研修動画を作成し、周知を図る。（小学校国語・算数、中学校国語・数学等）</p> <p>○市町村教育委員会と連携した集中的な支援 全国学調の問題を單元ごとに整理した活用問題（B-PLAN）や小学校算数単元到達度評価問題を希望する学校に毎月配信。県教育委員会と市町村教育委員会が学校を支援し、校内指導體制の強化を図る。</p> <p>○研修パッケージによる校内研修の実施 全国学調から把握した鳥取県の課題について周知し、授業改善を図るために研修パッケージを作成し、校内研修での活用を促す。（要請に応じて県指導主事が学校訪問し研修を行い助言することも可能）</p> <p>○全県小学校算数訪問の実施 「ととりの授業改革【10の視点】重点項目」の徹底による授業改善を推進する。県教育委員会指導主事による学校訪問を継続して実施する。</p> |
| 教師の指導力・能力を高める研修の充実 | <p>○中学校定期考査改善研修（国語・数学・英語） 定期考査を、知識を活用して課題解決を行う力を問う問題に変える意義やその方法を学ぶ研修会を実施する。</p> <p>○「今求められる学力」を付けさせる授業改善研修会 学力調査官等、全国学調に係る専門家や文部科学省の教科専門官を招聘し、「今、求められる学力」について解説する教職員対象の授業研究会や研修会を実施する。 （国語）授業研究会（元学力調査官を招聘）を6か所で開催 （数学）教育団体と連携し、教科調査官（数学）等を招聘</p> <p>○学力向上研修会 小学校算数の教科調査官、秋田県の教育専門監を招聘した研修会を実施する。</p> |
| 一人一台端末を活用した個別最適化された学習の推進 | <p>○eラーニング教材活用による学力向上推進 eラーニング教材を導入し学力向上を行う市町村を支援し、個別最適な学習を推進するとともに、家庭学習等での活用を推進する。</p> |